学校番号	122

平成31年度　　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次(普通科)
使用教科書	高校生の音楽（教育芸術社）						
副教材等	合唱楽譜　ミュージックノート（教育芸術社）　自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を通して学習します。・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。・音楽の学習は様々な経験を通してこそ価値のある物であり、感性が豊かになります。・音楽が将来にわたって、皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて、表現意図を持っている。	創意工夫をいかした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	学習の取り組み状況（観察・聴取）学習プリント　ノート　授業態度	学習の取り組み状況（観察・聴取）	課題進度状況　学習の取り組み状況（観察・聴取）	学習プリント　ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	正しい発声法で日本や外国の歌曲を歌う（独唱）	**【歌唱】 発声法･呼吸法　日本、外国の歌曲**	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージをもってうたう学習に主体的に取り組もうとしている。曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持っ歌う学習に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせて、どの用意歌うか表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージを持って音楽表現をするために必要な発声、発音、呼吸法、読譜などの技能を身につけている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、演奏を解釈したり、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察　ノート　演奏の聴取

1	リズム表現を楽しむ	【器楽】リズムの読譜・記譜　ソルフェージュ(リズム)【創作】リズム創作	○	○	○		a:リズムや音価の組み合わせによって生まれる音型に関心をもち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽を作るかについて表現意図をもっている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察　ノート　演奏の聴取
	音楽を聴く力をつける	【鑑賞】管弦楽曲	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の種類や音色、旋律やリズムの特徴と表現の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察　ノート
2・3	表現を工夫したリコーダ演奏	【器楽】リコーダーの基本的な奏法	○	○	○		a:リコーダーの音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、リコーダーの音色や奏法の特徴を生かして表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:リコーダ-の音色や奏法の特徴、フレーズなどを感じ取り、それらを生かした音楽表現をするためにに必要な技能を身につけ、創造的に表現している。	観察　ノート　演奏の聴取
2・3	ハーモニーを作ろう	【歌唱】混声合唱	○	○	○	○	a:各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしい合唱表現をしようとしている。 b:各パートの重なりや音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら音楽表現を工夫している。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し、楽曲にふさわしい音楽表現になるように工夫している。 c:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するための技能を身につけ、創造的に表現している。 d:各パートの役割や音の重なり方、演奏者による表現の特徴やよさを味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた表現活動に生かしている。	観察　ノート　演奏の聴取
3	ミュージカルについて知る	【鑑賞】ミュージカル作品	○			○	a:ミュージカルや作品の文化的・歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d:ミュージカルや作品の文化的・歴史的背景、社会の状況などを理解し、創造的に味わって視聴している。	観察　ノート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫　c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	122

平成31年度　　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	2年次（体育科）
使用教科書	MOUSA Ⅰ　（教育芸術社）						
副教材等	合唱楽譜　ミュージックノート（教育芸術社）　自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を通して学習します。・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。・音楽の学習は様々な経験を通してこそ価値のある物であり、感性が豊かになります。・音楽が将来にわたって、皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて、表現意図を持っている。	創意工夫をいかした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	学習の取り組み状況（観察・聴取）学習プリント　ノート　授業態度	学習の取り組み状況（観察・聴取）	課題進度状況　学習の取り組み状況（観察・聴取）	学習プリント　ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	正しい発声法で日本や外国の歌曲を歌う（独唱）	**【歌唱】 発声法･呼吸法　日本、外国の歌曲**	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージをもってうたう学習に主体的に取り組もうとしている。曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持っ歌う学習に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせて、どの用意歌うか表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージを持って音楽表現をするために必要な発声、発音、呼吸法、読譜などの技能を身につけている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、演奏を解釈したり、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察　ノート　演奏の聴取

1	リズム表現を楽しむ	【器楽】リズムの読譜・記譜　リズムアンサンブル【創作】リズム創作	○	○	○		a:アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を活かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽を作るかについて表現意図をもっている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察　ノート　演奏の聴取
	音楽を聴く力をつける	【鑑賞】「青少年のための管弦楽入門」ブリテン作曲	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の種類や音色、旋律やリズムの特徴と表現の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察　ノート
2・3	表現を工夫したリコーダ演奏	【器楽】リコーダーの基本的な奏法	○	○	○		a:リコーダーの音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、リコーダーの音色や奏法の特徴を生かして表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:リコーダ-の音色や奏法の特徴、フレーズなどを感じ取り、それらを生かした音楽表現をするためにに必要な技能を身につけ、創造的に表現している。	観察　ノート　演奏の聴取
2・3	ハーモニーを作ろう	【歌唱】合唱	○	○	○	○	a:各パートの役割や音の重なり方などに関心を持ち、全体の調和を考えて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、共通のイメージを持って楽曲にふさわしい合唱表現をしようとしている。 b:各パートの重なりや音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら音楽表現を工夫している。・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し。楽曲にふさわしい音楽表現になるように工夫している。 c:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するための技能を身につけ、創造的に表現している。 d:各パートの役割や音の重なり方、演奏者による表現の特徴やよさを味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた表現活動に生かしている。	観察　ノート　演奏の聴取
3	ミュージカルについて知る	【鑑賞】ミュージカル作品	○			○	a:ミュージカルの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果とのとの関わりを、知覚、感受し、ナンバーとその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、ミュージカルに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察　ノート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫　c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。